

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 25年 9月5日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670900218
法人名	社会福祉法人 大一会
事業所名	グループホーム鈴蘭 3ユニット (ほほえみ・とがめ・からいも)
所在地	伊佐市大口宮人463番地30 (電話) 0995230139
自己評価作成日	平成25年6月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php">http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成25年7月24日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

鈴蘭では御利用者の尊厳を常に考えて支援できるように努めています。そして、日々の生活が特別なものでなく、日常的であり家庭的な雰囲気が漂う中で生活して頂けるよう心がけています。また、安心・安全な環境が確立できた生活を提供できた上で、一人ひとりの自分の時間・自分の暮らしが出来るように支援させて頂いています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

#### 【立地・環境】

- ・事業所は山あい位置しており、住宅地からは離れているため、地域住民との交流は少ないが、その分、隣接する同法人の障害がい者施設や高齢者施設との交流を盛んに行なっている。
- ・また、地域の小学校や保育園児との交流も積極的に行なっており、運動会や文化祭に参加したり、園児を芋掘りに招待するなどし交流を深めている。

#### 【重度化・終末期に対する思い】

- ・これまでに看取りの実績はないものの、入居者・家族の思いやケアを考えたときにとっても大切なことであると捉え、今後積極的に看取りについて取り組んでいきたいと考えている。マニュアルや『看取り介護計画』『看取り介護経過説明書』等の書式の整備、職員研修の準備をすすめている。

#### 【管理者の思い】

- ・管理者は職員に対して入居者中心のケアについて、ぶれることなく関わりを持ち続け、入居者本意の下で接してほしいと考えており、専門性を高めるための研修や勉強会を積極的に取り入れている。
- ・また、各ユニットのリーダーは『援助する人を援助する立場』にあることを常に意識しながら職員と向き合い、共に成長していこうと考えている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	開設当初から法人理念・事業所理念を基本に支援を行っている。毎年、ユニットごとの理念作りを掲げそれをもとに取り組んでいる。また、一月ごとに職員同士で振り返り理念の反省を行っている。	理念は事業所全体の理念のほかに各ユニット毎の理念も掲げており、朝礼で毎日唱和することで理念を再確認しながら日々の実践につなげている。職員の言動等反省が理念につなげられるよう年1回理念を振り返る機会を設けている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	年間行事として近隣の小学校の運動会や保育園との交流会に参加し、交流を深めている。日常的にはなじみのある地域の理美容室を利用し地域とつながりを持つようにしている。	小学校の運動会や文化祭に準備段階から参加させてもらったり、芋掘り交流では事業所の畑に園児を招待して入居者とともに芋掘りを楽しんでいる。場所柄地域交流は少ないが、事業所のグラウンドを開放してグランドゴルフに利用してもらうなど、地域に貢献し積極的に関わりを図る努力をしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	スタッフがサポーター養成講座に参加して認知症の理解に努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回運営推進会議を開催し、会議の中で事業所での取り組みや状況を報告している。また、事業所の行事に参加して頂き、。会議での意見をもとに今後のサービス改善に活かしている。	会議には入居者や家族代表、行政職員、地域住民のほか、職員の家族代表らも交え事業所の取り組みや実情、外部評価の結果報告等を行なっている。メンバーからの意見も積極的に出され、独居老人の所在の確認や認知症サポーターに講師として出向く等地域との関わりを大切にした取り組みを企画し実施するなどサービス向上に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	運営推進会議や地域密着型サービス連絡会を開催し事業所の実情やサービスの内容を報告し、行政機関との連携を図り情報交換を行っている。	運営推進会議のほか、2ヵ月に1回開催している地域密着型サービス連絡会でも行政職員と話す機会があり、また、障がい者施設を運営していることもあり、行政を訪れ事業所の実情や相談事を話す機会が多い。連絡会では、年1回セミナーや勉強会を開催しており、200名程の参加があった。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	施錠については夜間帯での戸締りを行っているがそれ以外は基本的には行っていない。代表者・全ての職員において身体拘束をしないケアを心がけ理解している。	2日間の日程で行なわれる新人研修では、身体拘束廃止や接遇についてしっかり学ぶ機会を設けている。Eラーニングシステムという動画サイトを立ち上げており、法人全体の職員がサイトを見ながら自己研鑽できる工夫をしている。言葉による拘束についても職員間で話し合い、拘束のない生活を支援している。入居者が外出しようとした時は職員も一緒について行くようにしており、また、同法人の施設にも外出した際の見守りや連絡の協力ももらっている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者や職員同士で研修を行い虐待防止に向けて安心できる環境の提供に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	事業所内で研修を行い必要な時は説明できるように学びを深めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	利用者・家族の方に契約する際、書類等で詳細に説明を行い理解・納得してもらっている。不安や疑問点がある際はその都度説明を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議でご利用者やご家族の代表者を決めて参加して頂き意見を述べる機会を設けている。また、面会の際にはケース記録を閲覧し様子を把握している。相談などある際は職員間で話し合い検討している。	日常中の会話や日頃の言動等から入居者の意見や思いを把握しており、家族からは運営推進会議や来所時等に意見を聞き取るようにしている。ヒヤリハットや事故報告書については、その都度詳細に記録されるとともに各ユニットからホーム全体に、そして経営者まできちんと報告がされている。重要な意見等については、次年度の勉強会や研修会につなげるようにしている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	リーダー会議や職員会議を通し意見や提案を聞く機会を設け問いかけたり聞き出したりしている。	管理者は毎月のミーティングや年2回の個別面談で職員の意見をきいている。また、日頃から各ユニットのリーダーが職員の意見や要望を聞き取るようにしており、人事異動や待遇面等重要な案件については職員の意見が反映されるよう、法人全体で目的あるものにしたいたいと考え調整している。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	人事考課の導入により職員個人が自己評価をし、管理者などで評価を行うことで職員にも向上心を持って業務に努めている。勤務状況や給与体制にも配慮されている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修への参加を設けると共に内部研修を計画し質の向上に努めている。又、新人職員に対してはプリセプター制度を用いて、統一した教育を行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域密着型サービス連絡会に参加し、同業者との交流や連携を図っている。また、地域のサービス事業所や行政機関との連携も図っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前に面会を行い、本人やご家族の方に様子をお聞きし把握しておく。接する際には相手が不安にならないように言葉遣いに気を付けて要望に応えられる様努めていく。知り得た情報をミーティングを利用しケアに活かしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約の段階でご家族の方からの不安なことや要望に耳を傾ける。その情報をミーティングを利用し職員間で話し合いできるだけ応えられるようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人やご家族の方からの要望を聞き、出来るだけ応えられるように職員、ケアマネージャー等と連携を図り必要としている支援ができるようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	全てにおいて職員だけで支援するのではなくご利用者の方々に洗濯物や食事のお手伝いをして頂き職員・ご利用者と一緒に触れ合いながら支え合っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	月1回の鈴蘭だよりでの発送をしたり、面会時にはゆっくり家族同士で会話を楽しまれたりして過ごしている。また、ご利用者のケース記録を閲覧し最近の状況を知っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居されてからもご家族や馴染みのある地域の方々にも面会に来て頂き関係を継続している。外出される時は馴染みのある理美容室を利用し散髪を行っている。天気の良い日などは馴染みのある場所までドライブをしたりし支援に努めている。	本人を取り巻く人間関係については、アセスメントシートやケース記録、センター方式に記録しており、これまで通り友人知人らとの交流が行なわれるよう電話や手紙、訪問の手助けを行なっている。馴染みの理美容室やお墓参りなど個人的な要望にも応えられるようユニット間で協力し合い積極的に外出を支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者や職員の共有の場所でお茶を飲まれたり体操をしたり洗濯物をたたんだりできるように支援している。自然と会話も弾んだりしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居されたご利用者のご家族等にも広報誌を送るなどして関わりを持ち関係を継続している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご利用者の方とコミュニケーションを図りその人の思いや要望などを聞き取り把握に努め出来るだけ応えられるようにしている。意思伝達が困難なご利用者の方についてはご家族に相談し情報を得るようにしている。。	日常の会話や表情等から入居者の思いを汲み取り、家族面会時には家族からも情報を聞き取り、アセスメントシート等に記載している。また、日頃の様子を記録する『ケース記録』も参考にしながら個人の情報を把握するよう努め、把握した内容は随時職員間で話し合わせ情報を共有している	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族からの情報や書類などに記載されている情報を職員で把握しプライバシーに配慮しながらケース会議を行い検討している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご利用者の心身状態や有する力等の把握に努めている。改善すべき必要性があれば職員間でミーティングを行い、検討している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的にミーティングやご家族を交えた話し合いを持ち、職員間で意見交換をし、今後のケアに活かせるように努めている。モニタリングについては、その都度ミーティングを行い実施している。	毎月モニタリングを実施し、日頃の様子や受診時に得た情報、主治医からの照会文書等を参考にしながら職員間で意見を出し合い介護計画を作成している。また、骨折や入院等状態に変化がみられた時は速やかにモニタリングを行ない、状態に即した介護計画になるよう、その都度計画を再作成し交付するようにしている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	身近で支える職員が事実やケアでの気づきを具体的に書くように努力している。情報を共有しながら実践に活かしてはいるが、介護計画の見直しまでには至っていない。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご利用者やご家族のニーズに対し、早急に対応出来る様心掛けている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域での行事等、積極的に参加をし馴染みのある場所に外出したり、自然な暮らしをして頂いている。散髪については、行き付けの理美容室を利用し関係が継続できるようにしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族の同意のもと、月に一度の主治医の往診を実施している。また、協力医療機関との連携を図り他科受診の際も適切に対応している。	入居前のかかりつけ医をフェースシートに記載し、入居後も継続して受診できるように家族と職員が協力し合って受診を支援している。訪問看護や訪問診療に来てもらう際には、それぞれ『指示伺い書』にて日頃の状態等伝達事項を記入し渡している。受診時に得た情報や指示は『個別ケース記録』に記載し職員間で情報を共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	契約による訪問看護と連携しながら日常的な支援を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用者が入院した際は、定期的に職員が面会に行っている。その際、看護師やドクターから病状の経過や状態を聞き把握している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約の段階で事業者が対応できる最大限のケアを御家族に説明し理解して頂いている。また、医療機関と随時連携を図るようにして職員で取り組んでいる。	入居時に『重度化および看取りケアの指針』『看取りに関する意見の確認および同意書』にて説明をし同意を交わしており、入居後も状態に変化がみられた時等随時確認するようにしている。現在、マニュアルを整備中であり、『看取りに関する手順』『看取り介護計画書』『看取り介護経過説明書』を作成しており、今後マニュアルに添付していく意向である。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の対応については慌てずに適切な対応が出来る様、内部研修などを通して学んでいる。急変時の対応には職員・主治医・併設施設の職員とも連携を図りながら協力を頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年間を通して2回総合防災訓練を実施し、消防署の方々から適切な指導を受けながら訓練を行っている。様々な状況での想定を考慮して御利用者・職員に協力を頂き防災訓練を行っている。災害時の毛布・食料・飲料水の備蓄については、今後検討の必要がある。	火災や夜間想定を含めた災害訓練を年2回実施している。場所柄周囲に民家が少ないため、同法人の関連事業所内で連携して災害訓練に取り組んでいる。備蓄については法人全体で、水や飲料水、レトルト食品等を3日分程度備蓄しており、ラジオや懐中電灯等備品も準備している。災害時の手順書や防災管理規程等は確認できたが、災害時のマニュアルは確認できなかった。	『防災管理規程』『自衛消防組織細則』等の書類は確認できたが、災害マニュアルが確認できなかったため、今後、災害別に速やかな対応がとれるよう災害別のマニュアルを作成して頂き、緊急時に備えた対応について職員間で確認し合うようにして頂きたい。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	排泄時や更衣時等プライバシーに配慮した介助を行っている。又失敗した事で御本人様が落ち込まない様優しい声掛けを行っている。「一人一人の人格の尊重・プライバシーの確保」については職員全体で深く話し合い学び合っている。	スキルアップ研修において人格の尊重やプライバシーについての内容を含む接遇マナーの研修を実施している。トイレへの声かけや誘導については、他の入居者に配慮し、さり気なく声をかけ対応している。また、ポータブルトイレは夜間使用される方がほとんどであるが、日中使用される方については、定期的に後始末を行なっている	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個人のニーズを把握し、ご希望に添える様努めている。又御本人様の希望や願いが表現出来る様働きかけている。意思表示が困難な方に関しては、表情の反応や御家族の意見を聴く様にしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日中の流れは基本的に決まっているが、御本人様の希望や本来持っているペースに合わせて、支援を行っている。又その日の状況をみながら予定を変更したり状況に応じた個別ケアに努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	ご本人の希望する理美容室を利用している。着る服については御本人様に決めて頂いている。意思表示・こだわりのない方については、職員の価値観を押し付けない様、御本人様の好みを大事にしながらか清潔を心掛けている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備・片付けは基本的に職員が行っている。その時の調子を見て、味噌汁の具を切って頂いている。好みの食べ物をリクエストされる日には、その都度応える様にしている。	食材の買い出しや調理の下ごしらえ等の一連の工程を入居者と職員が楽しみながら行なっている。菜園ではナスやかぼちゃ、ピーマン、ニガウリなどの野菜を育て収穫し、旬のものを職員も一緒に食べている。入居者の食べたいものや外食の希望があるときは、可能な限り希望に応えられるよう随時対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ご利用者個人に合わせた食事量や形態を把握し、摂って頂いた摂取量や水分量をチェック表に記録している。体調・体重の増加等にも注意し、必要に応じて量を減らしたり、増やす事もある。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事のあとと就寝前に声掛けを行い、必要な方については職員で口腔ケアの介助を行っている。義歯については、洗浄剤で消毒を行なっている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	プライバシーに配慮しながら、利用者の一日の排泄状況を把握し尿取りパットでの排泄に頼らず時間帯をみてトイレ誘導を行い、排泄を促している。	特に排泄チェックは行っていないが、職員は個々の排泄パターンを把握しており、本人の様子や時間を見計らいながらトイレに誘導している。健康上、排便については、内服薬の確認とともに表にして管理している。ポータブルトイレやリハビリパンツを使用している方については、なるべくトイレで排泄できるよう介護計画に組み込み対応している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝のバナナ・牛乳・繊維食材を使った食事等を提供し、自然排便を促す様努めている。又ユニットで体操を行い、身体を動かし便秘予防に取り組んでいる。排便チェックを行い、職員間で排便状況を把握している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	1週間で基本的な一人ひとりの入浴予定日を決めて行っているが、予定に限らず個人の希望や体調を見ながら行っている。楽しみな入浴になるように声掛けを行いながら支援している。	夕食後に入浴する方がいるなど、本人の好みの時間に入浴できるよう支援している。また、温泉を引いていることや仲の良い方同士で入浴することもでき、入居者に変喜ばれている。入浴を拒む方については、声をかける職員を変えたり、声かけのタイミングを見計らうなどして入浴に誘っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとり好きな時間に休息・余暇活動をしている。ご本人の希望で昼寝をしたりゆっくり過ごして頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の変更があった際は連絡帳を活用し、職員全員が薬の目的や効果について把握できるよう努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの趣味や特技を把握してできる範囲で気分転換しながら楽しんで頂いている。生活作業をご利用者・職員と一緒に無理のないように楽しく行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天気の良い日には散歩や外出など声掛けし気分転換を図って頂いている。ご利用者から外出の希望があった場合は出来るだけ応えられるようにしている。	初詣や花見、曾木の滝で行なわれるもみじ狩りなどの屋外行事を年間計画に組み込み出かけている。入居者個人の要望も聞き取り、希望の場所に出かけられるよう積極的に支援している。車椅子等で外出の困難な方もなるべく一緒に出かけられるよう車椅子対応車を活用し出かけている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>基本的にはご利用者の金銭管理は事業所で預かり管理している。希望者によっては個人で管理されている方もいる。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご本人からの電話の訴えやご家族から電話があった際は、本人と代わりゆっくり会話を楽しんで頂いている。ご家族から手紙や贈り物が送られてきた際は本人にお渡しし届いたことをご家族へ連絡している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご利用者同士で共有する場所であるホール・廊下・トイレなどを定期的に清掃している。また、季節に合った花を飾っている。</p>	<p>ホールの天井は高く開放的であり、玄関、ホールには季節の花や入居者の作品が飾られており、訪問者の目を楽しませている。トイレは各ユニット毎に2カ所ずつ設けられ、介助スペースも十分確保され使いやすい。浴室も十分広く、脱衣所には湯冷めしないようエアコンを備えている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>玄関先にベンチを置いたりして天気の良い日にはいつでもご利用者同士でくつろげる空間を取り入れている。また、その一人ひとりにあったホールでの座席配置にも気を配り居心地のよい環境を提供している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご本人や家族の要望に耳を傾け使いなれた物や馴染みのある物を居室に配置し、その人が居心地良く過ごせるようなお部屋作りを心掛けている。</p>	<p>各居室にはベッドとエアコン、洗面台が備え付けられており、自宅から持ち込まれた冷蔵庫やテレビ、仏壇などとともに居心地の良い環境になっている。また、書道道具など趣味のものを持ち込み、思い思いの時間を過ごせる環境が整えられている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>一人ひとりの状況に合わせた食事・歩行・入浴・排泄を把握している。できることはして頂き、できないことを支援し、安全に自立した生活が送れるよう努めている。</p>	/	/



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	開設当初から法人理念・事業所理念を基本に支援を行っている。毎年、ユニットごとの理念作りを掲げそれをもとに取り組んでいる。また、一月ごとに職員同士で振り返り理念の反省を行っている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	年間行事として近隣の小学校の運動会や保育園との交流会に参加し、交流を深めている。日常的にはなじみのある地域の理美容室を利用し地域とつながりを持つようにしている。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	スタッフがサポーター養成講座に参加して認知症の理解に努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回運営推進会議を開催している。、会議の中では事業所での取り組みや状況を報告しご意見を頂き、サービスの質の向上に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	地域密着型サービス連絡会に参加して事業所の実情やサービスの内容を報告し、行政機関との連携を図り情報交換を行っている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	施錠については夜間帯での戸締りを行っているがそれ以外は基本的には行っていない。代表者・全ての職員において身体拘束をしないケアを心がけ理解している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者や職員同士で研修を行い虐待防止に向けて安心できる環境の提供に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	事業所内で研修を行い必要な時は説明できるように学びを深めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>利用者・家族の方に契約する際、書類等で詳細に説明を行い理解・納得して頂き契約に至っている。不安や疑問点がある際はその都度説明を行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議でご利用者やご家族の代表者を決めて参加して頂き、意見を述べる機会を設けている。また、面会の際にはケース記録を閲覧し様子を把握して頂いている。相談や意見がある際は職員間で話し合い検討し、改善に努めている。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>リーダー会議や職員会議を通し意見や提案を聞く機会を設けている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>人事考課の導入により職員個人が自己評価をし、管理者などで評価を行うことで職員にも向上心を持って業務に望める様努めている。勤務状況や給与体制にも配慮されている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修への参加を設けると共に内部研修を計画し質の向上に努めている。又、新人職員に対してはプリセプター制度を用いて、統一した教育を行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域密着型サービス連絡会に参加し同業者との交流や連携を図っている。また、地域のサービス事業所や行政機関との連携も図っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	まず入居前に情報収集を兼ね面会を行い、顔見知りになることで安心感を持って頂くよう努めている。得た情報を基に職員間でミーティングを行い、要望や注意事項についても把握するよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約の段階でご家族の方からの不安なことや要望に耳を傾ける。その情報をミーティングを利用し職員間で話し合いできるだけ応えられるようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人とご家族の要望をお聞きし、主治医やケアマネジャーと連携を図りながらその方にあった支援を行うよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	全てにおいて職員だけで支援するのではなく本人の意思を尊重しながら調理・洗濯・掃除など共に行い協力し合って生活している。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月一回ホーム便りを送付し、近況を報告している。誕生会や敬老会等の行事ではご家族へ参加を呼びかけている。面会の際にも状況を報告し、ご家族との信頼関係を築くよう努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ドライブを兼ね自宅へ赴いたり、理髪店等は御本人様に馴染みのある所を利用し、馴染みの関係が途切れないよう努めている。		
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者や職員の共有の場所でお茶を飲まれたり体操をしたり洗濯物をたたんだりできるように支援している。自然と会話も弾んだりしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居されたご利用者のご家族等にも広報誌を送るなどして関わりを持ち関係を継続している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	普段の暮らしの中でご本人と話をしながら希望や意向を確認している。ご自分の思いを伝えられない方については、ご家族からの情報を中心に、スタッフの意見を交えながら検討している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族の方へ今までの生活暦を尋ねそれに伴い少しでも今までの生活の様に過ごす事が出来るようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご利用者の心身状態や有する力等の把握に努めている。改善すべき必要性があれば職員間でミーティングを行い、検討している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的にミーティングや家族を交えた話し合いを持ち、職員間で意見交換をし、今後のケアに活かせるように努めている。モニタリングについては、その都度ミーティングを行い実施している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	身近で支える職員が事実やケアでの気づきを具体的に書くように努力している。情報を共有しながら実践に活かしてはいるが、介護計画の見直しまでには至っていない。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご利用者やご家族のニーズに出来るだけ応えられるように心掛けている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域での行事などにも参加したり馴染みのある場所に外出したりして自然な暮らしを楽しんで頂いている。散髪については馴染みの理美容室を利用し関係が継続できるようにしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族の同意のもと、月に一度の主治医の往診を実施している。また、協力医療機関との連携を図り他科受診の際も適切に対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	契約による訪問看護と連携しながら日常的な支援を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用者が入院した際は、定期的に職員が面会に行っている。その際、看護師やドクターから病状の経過や状態を聞き把握している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約の段階で事業者が対応できる最大限のケアをご家族に説明し理解して頂いている。また、医療機関と随時連携を図るようには、事業所、主治医、ご家族と話し合いを行っている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の対応については慌てずに適切な対応が出来る様、内部研修などを通して学んでいる。急変時の対応には職員・主治医・併設施設の職員とも連携を図りながら協力を頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年間を通して2回総合防災訓練を実施し、消防署の方々から適切な指導を受けながら訓練を行っている。様々な状況での想定を考えて御利用者・職員・消防分団の方々に協力を頂き防災訓練を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご本人へトイレの声掛けを行う際は、周囲の御利用者にご迷惑にならないように配慮している。又、排泄に失敗された時等は御本人様が落ち込まないような声掛けを行っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入浴の時間、食事の時間及び食事形態等、御本人様からの希望に沿えるよう努めている。又、行事等も一人一人に参加の有無を尋ね、判断はご本人様に委ねている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の大きな流れは決まっているが、その中で御利用者様より要望・希望があった際は可能な限り添えられるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	コミュニケーションを兼ね、更衣の際等は御本人様に洋服を選んで頂いている。ご本人様から散髪の実望があれば、理容院へお連れできるよう努めている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理や配膳・下膳は、職員が行っている。食事のメニューに関しては基本的に決めているが、御本人様の好みを把握しながらメニュー変更を行うこともある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人に応じた食事形態で配膳しており、摂取量も毎食記録している。又、一人一人の好む食材を把握し、必要に応じてお出しするようにしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後と就寝時に声掛け、自力では困難な方に対しては職員が支援している。義歯についても、定期的に洗浄剤を使用し洗浄している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	職員間でミーティングを行いながら一人一人の排泄パターンを把握し、その方の状態を考慮しながらトイレへの声掛け等を行っている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝の食事にバナナと牛乳を取り入れ提供している。又、レクリエーションとして体操を行ったり、思いを伝えられな方に於いては定期的なトイレ誘導を行い支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	清潔を保つ為、基本的な入浴日は決めているが、ご本人様から希望がある際は時間や日にちを変更し、個々に応じた入浴ができるよう支援している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	朝の起床時間は決めず、好きな時間に起床して頂いている。昼食後の昼寝も自由に取って頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の変更があった際は連絡帳を活用し、職員全員が薬の目的や効果について把握できるよう努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの趣味や特技を把握してできる範囲で気分転換しながら楽しんで頂いている。生活作業をご利用者・職員と一緒に無理のないように楽しく行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天気の良い日は散歩に出たり、夕方は夕涼みを兼ねて積極的に屋外へ出られるよう努めている。又、定期的に車での外出を計画し、季節ごとの花の見学等外へ出る機会を設けている。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>基本的にはこちらで管理しているが、ご本人の状態によっては手元に持って頂いている。外出先にて必要な場合は、その都度お渡ししている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご家族より電話があった際は、ご本人につなぐようにしている。又、本人様からの希望でこちらから掛けることもある。手紙等が届いた際は、ご本人へお渡しし、読むのが困難な方に対してはご本人了解のもと代読させて頂いている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>食堂のテーブルには散歩へ行かれた御利用者自らが選ばれた花を飾っている。又、季節にちなんだディスプレイ（鯉のぼりやひな人形）は御利用者・職員共に配置等を考えている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>玄関先にベンチを設置し、いつでもその場所でくつろげるようにしている。食堂の席はご利用者同士の関係を把握しながらご利用者と相談しながら決めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご家族と相談しながら、ご自宅で使われていた衣類や布団等を準備できるように努めている。又、居室にはご家族の写真をディスプレイする等、ご本人が落ち着く環境作りをしている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>一人ひとりの状況に合わせた食事・歩行・入浴・排泄を把握している。できることはして頂き、できないことを支援し、安全に自立した生活が送れるよう努めている。</p>	/	/

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	開設当初から法人理念・事業所理念を基本に支援行っている。毎年、ユニットごとの理念作りを掲げそれをもとに取り組んでいる。また、毎月リーダー会議にて月ごとでも振り返っている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	年間行事として近隣の小学校の運動会や保育園との交流会に参加し、交流を深めている。日常的にはなじみのある地域の理美容室を利用し地域とつながりを持つようにしている。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	スタッフがサポーター養成講座に参加して認知症の理解に努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回運営推進会議を開催している。、会議の中では事業所での取り組みや状況を報告しご意見を頂き、サービスの質の向上に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議や地域密着型サービス連絡会に参加し事業所の実情やサービスの内容を報告し、行政機関との連携を図り情報交換を行っている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	ミーティングに於いて職員同士理解と再認識している。施錠については夜間帯での戸締りを行っているがそれ以外は基本的には行っていない。代表者・全ての職員に於いて身体拘束をしないケアを心がけている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者や職員同士で研修を行い虐待防止に向けて安心できる環境の提供に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	事業所内で研修を行い必要な時は説明できるように学びを深めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	ご利用者・ご家族の方に契約する際、書類等で詳細に説明を行い理解・納得して頂き契約に至っている。不安や疑問点がある際はその都度説明を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議でご利用者やご家族の代表者を決めて参加して頂き意見を述べる機会を設けている。また、面会の際にはケース記録を閲覧し様子を把握して頂いている。相談や意見がある際は職員間で話し合い検討し、改善に努めている		
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	リーダー会議や職員会議を通し意見や提案を聞く機会を設けている。		
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	人事考課の導入により職員個人が自己評価をし、管理者などで評価を行うことで職員にも向上心を持って業務に努めている。勤務状況や給与体制にも配慮されている。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修への参加を設けると共に内部研修を計画し質の向上に努めている。又、新人職員に対してはプリセプター制度を用いて、統一した教育を行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域密着型サービス連絡会に参加し同業者との交流や連携を図っている。また、地域のサービス事業所や行政機関との連携も図っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前に情報提供やご本人・ご家族に面会し、できる限りの状況を把握しておく。接する際には相手が不安にならないように言葉遣いに気を付けて要望に応えられる様努めていく。知り得た情報を元に、ミーティングを利用しケアに活かしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約の段階でご家族の方からの不安なことや要望に耳を傾け要望を聞く。その情報や要望を踏まえたうえでミーティングを行い職員間で支援方法を考えケアに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人やご家族の方からの要望を聞き、出来るだけ応えられるように職員、ケアマネージャー等と連携を図り必要としている支援ができるようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	全てにおいて職員だけで支援するのではなくご本人の意思を尊重しながら調理・洗濯・掃除など共に行い協力し合って生活している。みそ作りやちまき作り等の行事の際には、職員と利用者が協力し合いながら行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人の支援状況等をご相談し、ご家族の意見も踏まえながら今後のケアの方針を決め、支援に繋げている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの理髪店など定期的に利用されたり、天気の良い日などは馴染みのある場所までドライブをしたりし支援に努めている。		
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者や職員の共有の場所でお茶を飲まれたり体操をしたり洗濯物をたたんだりできるように支援している。自然と会話も弾んだりしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居されたご利用者のご家族等にも広報誌を送るなどして関わりを持ち関係を継続している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご利用者の方とコミュニケーションを図りその人の思いや要望などを聞き取り把握に努め出来るだけ伝えられるようにしている。意思伝達が困難なご利用者の方についてはご家族に相談し情報を得るようにしている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族の方へ今までの生活暦を尋ねそれに伴い少しでも今までの生活の様に過ごす事が出来るようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご利用者の心身状態や有する力等の把握に努めている。改善すべき必要性があれば職員間でミーティングを行い、検討している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的にミーティングや家族を交えた話し合いを持ち、職員間で意見交換をし、今後のケアに活かせるように努めている。モニタリングについては、その都度ミーティングを行い実施している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	身近で支える職員が事実やケアでの気づきを具体的に書くように努力している。情報を共有しながら実践に活かしてはいるが、介護計画の見直しまでには至っていない。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご利用者やご家族のニーズに出来るだけ応えられるように心掛けている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域での行事などにも参加したり馴染みのある場所に外出したりして自然な暮らしを楽しんでもらっている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族の同意のもと、月に一度の主治医の往診を実施している。また、協力医療機関との連携を図り他科受診の際も適切に対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	契約による訪問看護と連携しながら日常的な支援を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用者が入院した際は、定期的に職員が面会に行っている。その際、看護師やドクターから病状の経過や状態を聞き把握している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約の段階で事業者が対応できる最大限のケアをご家族に説明し理解して頂いている。また、医療機関と随時連携を図るようにして重度化や終末期については、事業所、主治医、ご家族と話し合いを行っている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の対応については慌てずに適切な対応が出来る様、内部研修などを通して学んでいる。急変時の対応には職員・主治医・併設施設の職員とも連携を図りながら協力を頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年間を通して2回総合防災訓練を実施し、消防署の方々から適切な指導を受けながら訓練を行っている。今回は炊き出し訓練を行い、ライフラインが止まった想定をし災害に向けての訓練を行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	排泄などで失敗した際トイレ誘導・パット交換の声掛けには配慮し対応を行っている。ユニットでの申し送りの際や職員間でご利用者の話をする際は、ご利用者のプライバシー確保の為に実名ではなくイニシャルや居室番号で話をしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご希望に添えるようにできるだけ応えている。意思表示できない方についてはご家族の意見を聞き入れ連携を図っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的に日中の流れは決まっているが、ご本人の希望や都合に合わせた支援を行っている。ご利用者の個人差もある為一人ひとりの状況も観察しながらその日の予定を変えたり状況に応じた個別性のケアをしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	散髪については、ご本人が希望するなじみある理美容室を利用し髪を整えている。身だしなみは、昔から慣れ親しんだ洋服や化粧品などをご自宅から持ってきて頂き、その人らしいおしゃれができるようにしている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事作りは基本的に職員が行っている。毎回ではないが食事作りや片付け等は、数名のご利用者と一緒にいる。食事の時間は、職員ご利用者と話をしながら食事を摂っている。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ご利用者個人に合わせた食事量や食事形態を把握し調理している。摂取量や水分量はチェック表に記録し、食事の摂取量が少なく栄養が摂れていない方については、主治医に相談し指示を頂いている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事の後と就寝時に口腔ケアの声掛けを行い必要な方については職員で介助を行っている。また、義歯については毎晩のポリドント等で消毒を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄については、プライバシーに配慮した声掛けを行っている。尿取りパットでの排泄に頼らず時間帯でのトイレ誘導を行い、ご本人からのトイレの訴えにもすぐに対応をしている。個人によっては夜間帯でのポータブルトイレの排泄を支援している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給・食事を工夫したりユニットで体操を行ったりして便秘予防に取り組んでいる。排便チェックを行い職員間でご利用者の排便状況を把握し、排便が無く便秘気味の方については、主治医に相談している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	一人ひとり入浴予定日を決めず、2日か3日に一度の間隔で体調を見ながら入浴を行っている。また、ご本人から入浴のご希望がある際には、毎日入浴を支援している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとり好きな時間に休息・余暇活動をしている。訴えの無い方については、声掛けや状況を見ながら誘導し休んでもらっている。昼食後はできるだけ居室で昼寝をする時間を設けてゆっくり休めるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は、ご利用者が服用している薬を文献をみながら目的や副作用など理解し、誤薬がないように職員で確認し合い服用できるようにしている。服用後は薬の分包を保管し、後で服薬したかが確認できるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの趣味や特技を把握しできる範囲で気分転換しながら楽しんで頂いている。役割は決めず、ご利用者・職員と一緒に無理のないようにしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	季節に合わせた外出を計画し、花を見たり、果物狩り、外食をするなど気分転換を図っている。ご利用者から外出の希望があった場合は出来るだけ応えられるよう支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>基本的にはご利用者の金銭管理は事業所で預かり職員が責任を持ち管理している。ご利用者によっては本人の希望で個人の財布を持ち、本人で管理できるようにしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご本人からの電話の訴えやご家族から電話があった際はまず、職員で対応し本人と代わりゆっくり会話を楽しんで頂いている。ご家族から手紙や贈り物が送られた際ご本人にお渡しし届いたことを職員でご家族へ連絡している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご利用者同士で共有する場所であるホール・廊下・トイレなどを定期的に清掃している。また、季節に合った花を飾っている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>玄関先にベンチを置いたりして天気の良い日にはいつでもご利用者同士でくつろげる空間を取り入れている。また、その一人ひとりにあったホールでの座席配置にも気を配り居心地のよい環境を提供している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご本人の居室等においては、ご本人やご家族に相談しながら家具を配置している。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>一人ひとりの状況に合わせた食事・歩行・入浴・排泄を把握している。できることはして頂き、できないことを支援し、安全に自立した生活が送れるよう努めている。</p>		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない